



# 生活かわら版



## 水ぼうそう（水痘）

- ① 最初は1～2個程度の湿疹ができ、1日かけてじわじわと全身に水泡が現れます。
- ② 寒くなる12～1月が発症のピークとなります。  
最もかかりやすいのは1～2歳で、10歳までに約90%が発症します。
- ③ 目には見えない水痘帯状疱疹ウイルスが口や鼻から喉に入り込んで体の中に侵入するため、空気感染・飛沫感染・接触感染が原因と考えられます。
- ④ 水ぼうそうの水泡の中の液には、水痘帯状疱疹ウイルスが含まれているため、黒いかさぶたがしっかりとできるまでは周りに感染させてしまう恐れがあります。

## おたふく風邪（流行性耳下腺炎・ムンプス）

- ① 風邪のような咳、鼻水、発熱、耳の下や顎の下の腫れが1週間程続きます。
- ② 1年間を通じて発症しますが、冬のおわりから春にかけて発症がピークとなります。
- ③ 非常に感染力が強いムンプスウイルスの飛沫感染が原因と考えられます。
- ④ 重症化すると、無菌性髄膜炎や重度の難聴、脳炎になることもあります。

## 予防法



\* 水ぼうそう、おたふく風邪はどちらもワクチンで予防できます。

### 症状の重症化に特に注意が必要な人

#### ☆ 子ども（特に乳幼児）

ワクチンを接種できるのは1歳以上

#### ★ 成人

成人が初めて感染すると、脳炎が起こることも多い

#### ☆ 病気や薬によって免疫機能が低下している人

治療中の人はワクチンを接種できない場合がある

#### ★ 妊婦

2%の頻度で胎児・新生児に重い障害を起こす可能性がある

